

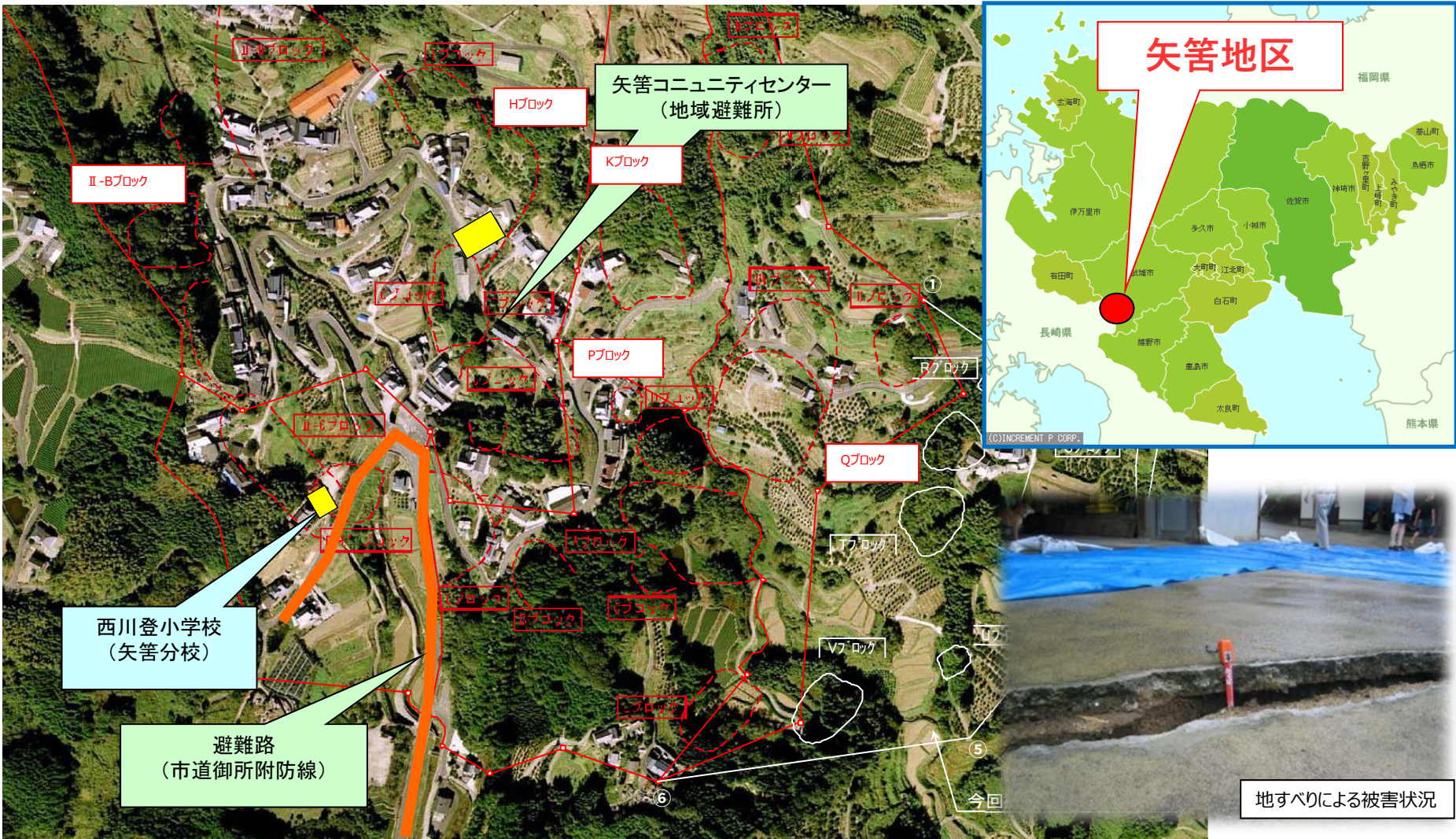
矢筈地区
砂防施設等整備交付金事業
(地すべり対策事業)

武雄市西川登町

(事業開始後10年が経過)

矢筈地区の概要

佐賀県西部の武雄市西川登町に位置し、山あいの集落で西川登小学校（矢筈分校）、矢筈コミュニティセンター（地域避難所）及び52戸の人家がある。



事業の目的

○平成16年9月の台風による豪雨により、地すべりが発生し、民地に亀裂が発生



○対策工事（地下水排除工、抑止工等）を実施し、地すべり被害の除去・軽減を図る ※平成19年度再開



宅地土間コンクリートの亀裂

事業実施経緯

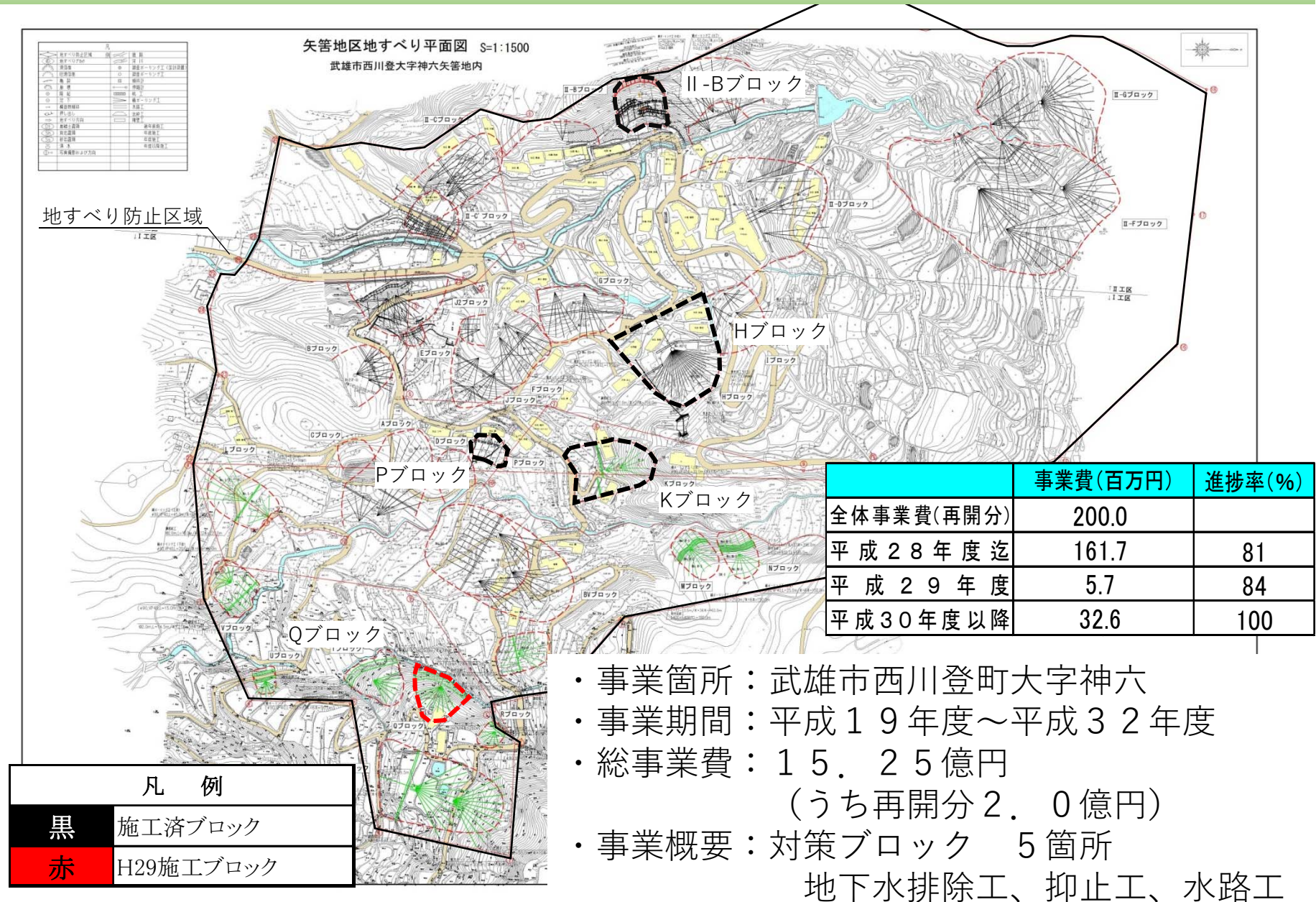
- ・ S 2 8 年 6 月 集中豪雨により民家、公共施設及び山林に亀裂、陥没
- ・ S 3 6 年 地すべり防止区域指定
- ・ S 4 0 ～ 4 8 年 地すべり対策事業
- ・ S 5 4 ～ 5 8 年 地すべり対策事業再開
- ・ S 6 1 ～ H 1 5 年 地すべり対策事業再開
- ※ S 6 1、H 1、H 1 4 に地すべり防止区域の指定（追加）
- ・ H 1 6 年 9 月 集台風による豪雨により民家に亀裂
- ・ **H 1 9 年度** **地すべり対策事業再開（5ブロック）**
- ※ H 2 3 地すべり防止区域の指定（追加）
- ・ **H 3 2 年度** **事業完了予定**

再評価対象部分

H19年度～H32年度分 対策工事等

ブロック名	対策工	H29事業	H30～32事業
Pブロック	地下水排除工（横ボーリング）、水路工 抑止工（アンカー工）	—	—
Kブロック	地下水排除工（横ボーリング）	—	観測、解析
II-Bブロック	地下水排除工（横ボーリング） 抑止工（アンカー工、法枠工）	—	—
Hブロック	井桁擁壁工	—	—
Qブロック	地下水排除工（横ボーリング） （抑止工（アンカー工、法枠工））	地下水排除工（横 ボーリング）	観測、解析 （抑止工は観測結果に よって必要性を判断）

地すべり対策事業（矢筈地区）の概要



社会経済情勢等の変化・コスト縮減等

【事業を巡る社会経済情勢等の変化】

事業採択時（H19再開時）と比較して大きな変化はみられない。

[保全対象]

- ・ 人家 5 2 戸
- ・ 西川登小学校
- ・ 地域避難所（矢筈コミュニティセンター）
- ・ 市道（避難路）

【コスト縮減や代替案等の可能性】

特になし

費用対効果

総費用額（C）：地すべり防止施設の整備及び維持管理に要する費用：3,387百万円

※維持管理費は事業完了後50年間分

総便益額（B）：地すべり防止施設の整備によりもたらされる総便益額：5,005百万円

○ 直接被害抑止効果	1,492百万円
・ 家屋・家財被害	844百万円
・ 農作物被害	23百万円
・ 公共土木施設等被害（道路）	394百万円
・ 人身被害（逸失利益）	231百万円
○ 間接被害抑止効果	3,453百万円
・ 応急対策（清掃等）	60百万円
・ 精神的損害	3,513百万円

⇒ 費用対効果

$$B / C = 5,005 / 3,387 = 1.48$$

※評価は「地すべり対策事業の費用便益分析マニュアル（案）H24. 3国土交通省」による

事業の継続について

H30年度から32年度で、地下水排除工を実施した地すべりブロック（K、Qブロック）において、地すべりの要因となる地下水位状況や地すべり滑動状況を観測し、地すべりの挙動のないことを確認する必要があるため、事業を継続する必要がある。